

履 歴 (令和 2 年 3 月 1 日現在)

氏名： 足立 ^{のりあき} 憲昭

生年月日： 昭和 25 年 5 月 3 日

出生地：

本籍地：

自宅：

自宅電話： 0798-52-6365

携帯電話： 090-9052-0427

自宅 FAX： 0798-57-4008

E-mail： fe4n-adc@asahi-net.or.jp

携帯 mail： mimu.hanky8103@docomo.ne.jp

現勤務先： 兵庫県三木市大塚 1 丁目 5-89
医療法人社団 和敬会 理事長
みきやまりハビリテーション病院 院長

兼任： 中華人民共和国 福建省 ^{しょうしゅう} 漳州市
^{しょうしゅうせいこう}
漳州正興病院 設立準備委員会 委員長

学歴

- 昭和 38 年 3 月 神戸大学（旧）教育学部（現「発達科学部」）附属住吉小学校卒業
- 昭和 41 年 3 月 私立灘中学校卒業
- 昭和 44 年 3 月 私立灘高等学校卒業
- 昭和 44 年 4 月 信州大学医学部入学
在学中、九州大学心療内科、神戸パルモア病院小児科・産婦人科、
横須賀アメリカ海軍病院などの夏期実習に参加
九州大学心療内科池見酉次郎教授より自律訓練の心療内科診療、
パルモア病院三宅廉院長らより小児科・産科の実習指導を受ける。
- 昭和 50 年 3 月 信州大学医学部卒業
- 昭和 50 年 4 月 信州大学大学院入学
医学部第 3 内科（神経内科）塚越廣教授、柳澤信夫教授に師事
同 10 月 半年間信州大学第 2 内科で
胃腸透視(MDL, 注腸)、上部消化管内視鏡の研修を受ける。
- 昭和 53 年 1 月 大阪大学蛋白研究所機能制御部門国内留学
蛋白分解酵素の分析、精製、測定法などにつき研究を行い
藤井節郎教授、岩永貞明助教授（現九州大学教授）の指導を受く
- 昭和 53 年 7 月 米国コロンビア大学医学部内科学教室留学
DeWitt.S.Goodman 教授に師事（2年間）
- 昭和 57 年 3 月 信州大学大学院卒業。 医学博士。

職歴

- 昭和 51 年 10 月 富士見高原病院内科勤務
長野県諏訪郡富士見町で小児を含めて総合診療にあたる。
- 昭和 53 年 7 月 米国コロンビア大学内科学教室留学
Staff Associate (1 年目)
Research Associate (2 年目)
- 昭和 55 年 10 月 信州大学第 3 内科消化器班班長を拝命
胃腸透視(MDL、注腸)、胃十二指腸内視鏡等の
消化器検査について後輩の指導にあたる。
- 昭和 56 年 4 月 長野赤十字病院に神経内科副部長として勤務
- 昭和 58 年 4 月 信州大学第 3 内科医局長に選出される。
- 昭和 59 年 4 月 豊科赤十字病院に神経内科部長として勤務
I C U 委員などを勤める。
- 昭和 62 度 4 月 信州大学第 3 内科医局長 (2 回目) に選出
- 平成元年 1 月 信州大学附属病院第 3 内科病棟主任を拝命
病棟医の指導、「糖尿病教室」の講演等を担当

以上すべて信州大学第 3 内科医局人事による。

- 平成 2 年 4 月 京阪神に帰郷のため、大阪府四條畷市の救急病院である
てつせいがい 畷生会脳神経外科病院（190 床）に副院長として招聘を受ける。
同病院の院内感染対策委員長などを勤める。
- 平成 3 年 10 月 財団法人痛風研究会より痛風診療の担当医と認定され、
畷生会脳神経外科病院が大阪大学附属病院、成人病センターなど
とならび大阪府下 4 番目の痛風協力医療機関となる。
以後同病院痛風外来担当（週 1 回）
- 平成 5 年 5 月 有馬温泉病院(384 床) に副院長として招聘される。
10 月 同病院院長を拝命し 1 年間院長職を勤める。
- 平成 6 年 10 月 自宅近くの西武庫病院にしむこに内科部長として勤務
（月・水・木曜日は全日勤務、金・土曜日は半日勤務の
実質「週休 3 日、週 4 日勤務」）
- 平成 10 年 8 月 「財団法人日本医療機能評価機構」の
「評価調査者（サーベイヤー）」の任命を受け、
西武庫病院勤務の傍ら全国の病院の機能評価を担当開始

執筆、インターネット医療相談、医療事故調査会、
病院機能評価などの活動で多忙となり西武庫病院を退職
- 平成 12 年 2 月 医療法人 喜望会 谷向病院に週 3 日の勤務を始める。
3 月 同病院内科部長に昇格就任。
- 平成 17 年 5 月 学校法人 中内学園 流通科学大学より特別講師の任命を受ける。
- 平成 18 年 7 月 医療法人社団 和敬会
みきやまりハビリテーション病院院長に就任
- 平成 19 年 2 月 病院併設のデイケアみきやま施設長兼任

平成 23 年 春 中華人民共和国 福建省 漳州市^{しょうしゅう}
漳州市^{しょうしゅうせいこう} 正興病院 設立準備委員会委員長 就任

平成 24 年 10 月 医療法人社団 和敬会 理事長に就任 (院長兼任)

免許等

- 昭和 50 年 6 月 10 日 医師免許
医籍登録番号 226799 号
- 昭和 57 年 3 月 医学博士
信州大学 第 194 号
- 昭和 57 年 12 月 8 日 電話級アマチュア無線技師
BAGN 2662
- 昭和 59 年 7 月 21 日 日本神経学会 日本神経学会認定医試験
証書番号 No.578
- 平成 3 年 11 月 24 日 社団法人 日本警察犬協会三重県支部
近畿日本訓練チャンピオン決定競技会 特良
- 平成 13 年 3 月 23 日 介護支援専門員 (ケアマネジャー)
兵庫県第 02266 号
- 平成 14 年 7 月 28 日 パソコンネットワーク技術試験
(NASKA : Network Application Skill and
Knowledge Aptitude test) ノービスクラス
- 平成 15 年 7 月 文部科学省認定「ファッションコーディネート色彩検定
(3 級)」証書番号 No.031018450
- 平成 15 年 12 月 25 日 兵庫県社会保険事務局 保険医登録票
兵 医 42016
- 平成 16 年 6 月 20 日 文部科学省認定「実用フランス語技能検定試験」
4 級、5 級同時受験双方共合格
- 平成 16 年 6 月 27 日 TOEIC 結果得点 810 点
- 平成 17 年 1 月 28 日 日本神経学会 神経内科専門医合格
日本神経学会指導医証授与 第 873 号
- 平成 18 年 7 月 26 日 麻薬施用者免許
兵庫県 第 33961

- 平成 19 年度秋季 文部科学省認定「実用フランス語技能検定試験」
3 級合格
- 平成 21 年 1 月 19 日 財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター
医療関係機関等を対象にした
特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会 修了
- 平成 21 年 1 月 26 日 財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター
「医療関係機関等を対象にした特別管理産業廃棄物
管理責任者に関する講習会」試験合格
- 平成 21 年 10 月 1 日 社団法人 兵庫県医師会
兵庫県医師会死体検認定
医認定登録番号 21-002
- 平成 22 年 4 月 12 日 一般財団法人 日本中国語検定協会
中国語検定試験 準 4 級合格
- 平成 22 年 6 月 20 日 中国政府教育部公認 HSK（漢語水平考試）
1 級・2 級 同時合格
- 平成 24 年 3 月 18 日 中国政府教育部公認 HSK（漢語水平考試）
3 級合格（合格認定番号 H31203002705）
- 平成 25 年 7 月 5 日 一般財団法人 日本中国語検定協会
平成 25 年 6 月 23 日実施 第 80 回中国語検定試験
4 級合格（合格認定番号 25241734）
- 平成 26 年 4 月 10 日 公益社団法人 全国宅地建物取引業協会連合会
不動産キャリアパーソン修了試験合格 第 28-000058 号
- 平成 26 年 7 月 6 日 東京商工会議所
「福祉住環境コーディネーター検定試験（3 級）」
証書番号 32-3-03304
- 平成 26 年 7 月 15 日 一般社団法人 日本医療経営実践協会
「医療経営士 3 級」 受験番号 31412070008

- 平成 26 年 9 月 15 日 一般社団法人 日本医療経営実践協会
日本医療経営実践協会認定登録医療経営士 3 級
認定登録番号 第 32810014090206 号
- 平成 26 年 12 月 3 日 一般財団法人 不動産適正取引推進機構
平成 26 年度宅地建物取引主任者資格試験合格
第 14281137 号
- 平成 26 年 12 月 8 日 難病指定医
指定番号 28P1400444
- 平成 27 年 3 月 10 日 宅地建物取引主任者証の交付を受ける
登録番号 (兵庫) 第 054431 号
登録年月日 平成 27 年 2 月 6 日
発行番号 第 142805402 号
- 平成 27 年 3 月 17 日 一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会
「介護福祉経営士 2 級」 受験番号 21506610002
- 平成 27 年 12 月 20 日 内閣府認可 公益財団法人 JAA 人間力育成協会
第 5 回航空検定試験 3 級合格
合格者番号 130380
- 平成 27 年 12 月 20 日 内閣府認可 公益財団法人 JAA 人間力育成協会
第 5 回航空検定試験 2 級合格
合格者番号 121363
- 平成 28 年 2 月 23 日 コンプライアンス検定委員会
ビジネスコンプライアンス検定 初級合格
証第 160223H00209 号
- 平成 28 年 7 月 10 日 ICT プロフィシエンシー検定協会
ICT プロフィシエンシー検定試験 (P 検) 3 級合格
Certification_I.D PK100LU889

- 平成 29 年 1 月 1 日 ICD 制度協議会
インフュクシヨンコントロールドクター (ICD) 認定
認定番号 第 EI0687 号
認定期間 自 2017 年 1 月 1 日
至 2017 年 12 月 31 日
- 平成 29 年 3 月 11 日 ハワイ州観光局公認
ハワイスペシャリスト検定
Kupukupu (クプクプ・初級) 合格
- 平成 29 年 8 月 1 7 日 一般社団法人 全国給与計算検定協会
給与計算検定 4 級 1700074
- 平成 29 年 9 月 15 日 一般社団法人 日本医療経営実践協会
「医療経営士 3 級」再認定
認定登録番号 第 32810114090206 号
- 平成 29 年 9 月 23 日 ドローン検定協会
無人航空従事者試験 4 級 合格
L I D ; J A000058025074
- 平成 29 年 10 月 1 日 一般社団法人 日本不整脈心電図学会
心電図検定 2 級 合格
- 平成 29 年 12 月 1 日 公益社団法人日本医師会
日医生涯教育認定証授与 第 1728100001 号
認定期間：平成 29 年 12 月 1 日～平成 32 年 11 月 30 日
- 平成 30 年 1 月 13 日 日本商工会議所
簿記検定試験 初級合格 97 点／100 点 合格
- 平成 30 年 4 月 20 日 一般財団法人職業技能振興会
第 9 回給与計算実務能力検定 2 級 合格

平成 30 年 4 月 25 日 一般社団法人日本医療福祉設備協会
第 7 回ホスピタルエンジニア認定試験 合格
認定番号 001019
初回認定日 平成 30 年 7 月 1 日
有効期限 平成 35 年 7 月 31 日

平成 30 年 7 月 1 日 一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会
介護福祉経営士 2 級 認定
認定番号 22810106610002
有効期限 平成 33 年 6 月 30 日

平成 31 年 4 月 1 日 一般社団法人日本神経学会
日本神経学会認定指導医 認定
指導医番号 873
認定日 2009 年 5 月 20 日
現認定期間 2019 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

加入学会

(※すべて正会員)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ・ 日本神経学会 | 会員番号 (017507) |
| ・ 日本内科学会 | 会員番号 (ア 6979) |
| ・ 日本環境感染学会 | 会員番号 (1869334262) |
| ・ 日本感染症学会 | 会員番号 (11600160) |
| ・ 日本化学療法学会 | 会員番号 (11500673) |
| ・ 日本リハビリテーション医学会 | 会員番号 (111180) |
| ・ 日本心臓リハビリテーション学会 | 会員番号 (7122158149) |
| ・ 日本不整脈心電学会 | 会員番号 (K160553) |
| ・ 日本旅行医学会 | 会員番号 (M170041) |
| ・ 日本渡航医学会 | 会員番号 (th11539) |

他加入

・ 日本医療福祉設備協会

(B1 会員)

・ ラジコン操縦士 一般財団法人 日本ラジコン電波安全協会

Japan Radio Control Safety Association)

登録番号：69003603-01

登録年月日：平成 29 年 7 月 27 日

有効期限：平成 31 年 7 月 26 日

受講歴

- 平成 3 年 10 月 1 日 社団法人 日本医師会 生涯教育修了証
- 平成 16 年 9 月 1 日 社団法人 日本精神科病院協会
精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく研修
- 平成 17 年 2 月 7 日 厚生労働省医政局
精神科七者懇「臨床研修指導医講習会」運営委員会
近畿地区精神科七者懇「臨床研修指導医講習会」修了
- 平成 17 年 9 月 4 日 厚生労働省医政局長・社団法人日本感染症学会主催
院内感染対策講習会
- 平成 17 年 11 月 6 日 社団法人 兵庫県医師会
日本救急医学会認定 ACLS 基礎 (ICLS) コース受講
受講証明書番号 県医 05031
- 平成 17 年 11 月 27 日 眼瞼・顔面痙攣治療研究会
眼瞼・顔面痙攣治療講習・実技セミナー修了
- 平成 17 年 12 月 9 日 社団法人 日本精神科病院協会
認知症高齢者に関する研修会 修了
- 平成 19 年 12 月 19 日 「医療安全に関するワークショップ」(近畿地区)
厚生労働省近畿厚生局主催
研修プログラム
テーマ「医療安全管理の実際
～法改正の対応をはじめとして～」
講演Ⅰ「医療安全取組事例紹介システムについて」
講演Ⅱ「医療機器の安全管理の実際」
講演Ⅲ「医薬品関連医療事故防止の方策
～医薬品安全管理者の責務をどう果たすか～」
講演Ⅴ「医療安全管理室による
“医療安全管理に対するKY活動の導入”」

- 平成 20 年 11 月 8 日 SR (Sleep Respiratory Academy Japan)
人工呼吸療法公開セミナー ID No : HG2051
- 平成 21 年 1 月 19 日 財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター
医療関係機関等を対象にした
特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会 修了
- 平成 21 年 2 月 15 日 厚生労働省
厚生労働省の定めるかかりつけ医
認知症対応力向上研修 修了
- 平成 21 年 8 月 4 日 社団法人 日本医師会
日本医師会 ACLS (二次救命処置) 研修
修了証登録番号 20900074
- 平成 22 年 1 月 26 日 厚生労働省医政局
神戸大学医学部附属病院・日本医師会・兵庫県医師会
第 4 回 神戸大学医師臨床研修指導医講習会 修了
- 平成 22 年 12 月 8 日 厚生労働省健康局・神戸大学医学部附属病院
がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 修了
- 平成 23 年 6 月 2 日 A 型ボツリヌス療法講習機構
A 型ボツリヌス毒素製剤ボトックス講習・実技セミナー 修了
- 平成 23 年 10 月 8 日 社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会
介護支援専門員再研修 修了
- 平成 25 年 12 月 26 日 厚生労働省近畿厚生局
医療安全に関するシンポジウム 受講修了
- 平成 26 年 6 月 30 日 バクロフェン髄腔内投与 (ITB) 療法
アドバイザー・コミッティー監修講習
「ITB 療法 Web 講習」受講修了 登録番号 第 1406020 号
- 平成 27 年 4 月 19 日 株式会社 EE21 未来ケアカレッジ
介護事務講座 (1 日 6 時間×5 日間コース) 修了
修了証明書番号 第-MKS-KJIII-KSN15032209 号

- 平成 27 年 5 月 1 日 ゴールドトラスト株式会社
サ高住学校介護専門コース 修了
- 平成 27 年 5 月 24 日 回復期リハビリテーション病棟協会
第 8 回 回復期リハ病専従医師研修会 修了
修了証番号 1231
- 平成 27 年 9 月 27 日 日本慢性期医療協会
第 2 回看護師特定行為研修指導者講習会 修了
修了証番号 第 2015- I A-105 号
- 平成 27 年 9 月 27 日 日本慢性期医療協会
V.A.C 治療システム事前トレーニング 受講修了
認定番号 V.A.C.22788
- 平成 28 年 5 月 16 日 日本慢性期医療協会
排尿機能回復のための治療とケア講座 修了
修了証番号 28-01093 号
- 平成 28 年 10 月 9 日 日本環境感染学会
第 11 回医療疫学トレーニングコース
(基礎編：2016 年 10 月 8 日～10 月 9 日) 受講修了
- 平成 28 年 10 月 27 日 兵庫県医師会
平成 28 年度医療安全研修会 受講修了
- 平成 28 年 11 月 20 日 日本環境感染学会
第 12 回医療疫学トレーニングコース
(調査編：2016 年 11 月 19 日～11 月 20 日) 受講修了
- 平成 28 年 12 月 4 日 平成 28 年度第 3 回小児在宅医療実技講習会 受講修了
- 平成 28 年 12 月 15 日 公益社団法人医療・病院管理研究協会
病院グループの運営と今後の事業展開 修了

- 平成 29 年 1 月 14 日 一般社団法人 日本救急医学会
第 13 回 SAMURAI JADECOM
ICLS 指導者養成ワークショップ 修了
認定 ICLS コース コース認定番号 1712023
- 平成 29 年 4 月 27 日 一般社団法人 日本医療法人協会
第 1 回経営講座 受講修了
- 平成 29 年 3 月 31 日 公益社団法人 日本医師会
厚生労働省平成 28 年度死体検案講習会委託事業
日本医師会死体検案研修（上級） 終了
第 28-007 号
- 平成 29 年 5 月 17 日 一般社団法人 日本慢性期医療協会主催のハワイ研修旅行
（5 月 16 日～5 月 21 日）に参加し
Continuing education seminar
on
Healthcare System in U.S.
by
Nobuyuki Miki, MD
Vice President
Kuakini Medical Center 終了
- 平成 29 年 5 月 28 日 兵庫県保険医協会
保険請求事務講習会 修了
- 平成 29 年 7 月 1 日 集中治療クラブ
人工呼吸とことんセミナー 修了
- 平成 29 年 12 月 26 日 株式会社オファーズ
職業紹介責任者講習会 受講修了
番号（003-171226131-0023）
- 平成 29 年 2 月 11 日 NPO 法人日本医学シミュレーション学会（JAMS）
第 13 回日本医学シミュレーション学会学術集会
第 156 回 CVC 実践セミナー 修了

令和 1 年 9 月 23 日 学校法人 S B I 大学
学校法人 S B I 大学院大学 M B A 韓非子(前編) 修了

執筆講演活動

著書：「臨床検査法提要（分担）」（金原出版、第 29 版）

「第 86 回医師国家試験問題解説書（分担）」（医学評論社'92）

「臨床医のための診療技術（分担）」（中外医学社、'93 5 月発刊）

「第 87 回医師国家試験問題解説書（分担）」（医学評論社'93）

「チャート内科 I 神経、血液（足立、若林編）」

（医学評論社 '93 8 月発刊）

「第 88 回医師国家試験問題解説書（分担）」（医学評論社'94）

「第 89 回医師国家試験問題解説書（分担）」（医学評論社）

「アトピー・ステロイドを考える 講演記録集

（淀川キリスト教病院 玉置昭治先生、神戸労災病院 清水良輔先生らと共著）

（アトピー・ステロイド情報センター '95 年 8 月発行）

本書は柘植書房より再出版された。

「第 90 回医師国家試験問題解説書（分担）」（医学評論社）

「第 91 回医師国家試験問題解説書（分担）」（医学評論社）

「医療事故を防ぐために（医療事故調査会シンポジウム記録集）（分担）」

（日本アクセル・シュプリンガー出版 '98 8 月発行）

講演：1) 「めまい」の診療

保険診療研究 長野県保険医協会主催

日時：昭和57年5月21日（金） 於：長野県保険医協会

2) 患者接遇、インフォームドコンセントの勧め

日時：平成11年4月20日（火）午後5時～6時

於：全国社会保険協会連合会 奈良社会保険病院

3) 「民間病院のより良い院長像を求めて」－現場の指揮官の仕事の仕方－

神戸医療経営学研究会 第12回定例研究会発表

日時：平成21年12月5日（土） 於：三宮研修センター

一般雑誌掲載、マスコミ報道等 (国際誌を中心とした多数の学術論文は除く):

「頭痛」「耳鳴り」「めまい」など (ファックス・ドクター)
(日経ウェルネス 平成6年10月新発行、以後ほぼ毎月掲載。
平成7年4月20日「カラダの不安」として特集号出版)

「痛風と温泉療法」痛風協力医療機関だより
(痛風友の会発行「痛風」 平成6年6月号 No.297)

ビジネスマンのための健康相談「東南アジア出張で注意する病気は」
(平成5年6月25日 大阪日々新聞)

以下暇生会脳神経外科病院吉川幸広院長と共同執筆 (いずれも大阪日々新聞)

ビジネスマンのための健康相談「C型肝炎」	(平成5年2月25日)
専門医が答える健康相談「糖尿病性末梢神経障害」	(平成4年8月19日)
名医が答える健康相談「膠原病」	(平成4年6月3日)
〃	「高脂血症」 (平成4年5月13日)
〃	「糖尿病」 (平成4年4月1日)
〃	「気管支喘息」 (平成4年4月22日)
〃	「パーキンソン病」 (平成3年11月6日)
〃	「アルツハイマー病」 (平成3年9月25日)

神戸新聞「バス通勤」(ドクターの目) 平成6年9月6日
「風呂の効用」(〃) 平成6年10月25日
「しゃっくり」(〃) 平成6年12月6日
「医者への掛り方」(〃) 平成7年2月6日

「若手医師たちよ大学を離れて実力をつけよう!!」
(月刊ジャミックジャーナル 平成1998年2月号 P.62-63)

「しゃっくり」(関西電力発行「わっと」平成14年4月号 P.5)

マスコミ報道： 「温泉につかりアトピー治療 有馬温泉病院」
(神戸新聞 平成 6 年 2 月 2 日)

「ネット医療相談、年1千件越す」
(朝日新聞 平成9年8月13日)

「患者に医療情報を」
(NHK大阪放送局 平成9年11月14日)

「人に言えない病気 ネットで相談」
(朝日新聞社 「週刊AERA」平成12年3月27日号)

「ネットで医療を受けるってどこまで進んでいるの？」
(マガジンハウス発行「ダカーポ」平成2001年9月19日号P.36)

「骨髄異形成症候群とは」
タレントの青島幸男さん逝去の報道中声で出演
(日本テレビ「スッキリ」平成18年12月23日午前8時過ぎ)

「医療地図の描き方 院長による"人脈と経験"の人材集め」
月刊保険診療(0385-8588)60巻12号 Page80-81 2005.12

「ストップ! しゃっくり」
(社団法人 家の光協会発行「ちゃぐりん」平成18年11月号 p.56-

59)

「慢性扁桃炎」
(「けんぼだより」2007年1月発行 p.10)

医療 新たな胎動
「インターネットで病気の相談 ～人びとの不安に応える“医の心”」
医療ジャーナリスト 和田 努 によるインタビュー記事

健康保険組合連合会の雑誌「健康保険」 平成22年12月号
(平成22年12月15日発行)

経営学の広がり 「病院組織のマネジメント」
硯学舎 「1からの経営学」
加護野忠雄 吉村典久 編 p.269-p.288

和歌山大学観光学部准教授 竹田明弘 によるインタビュー
マスコミ報道： 黒田 昭 三木市医師会長との対談「専門職が生きる環境づくりで
充実した在宅ネットワークを構築」
(地域経営とヘルスケア 平成 27 年 2 月 1 日)

「イノベーターの構想力」
(Phase3 平成 28 年 1 月 10 日発行 通巻 378 号)

(その他の活動)

平成8年8月ころより「インターネット病気個別相談」のホームページを開設。
100万件以上のアクセスがあり、
朝日新聞、NHKテレビなどで紹介される。

平成8年より、「医療事故調査会」世話人の任命を受け、裁判所より依頼の証人出廷、
鑑定書作成などを担当。医療事故防止を研究し、発表を行っている。
平成19年ころまでだけでも鑑定書作成件数は合計約39編を越す。

平成10年8月より厚生労働省支援団体「財団法人 日本医療機能評価機構」の
評価調査者（サーベイヤー）の任命を受け、
病院勤務の傍ら全国の病院の機能評価を担当しつつある（既訪問審査20病院以上）。
平成16年4月よりは同「評価部会員」にも就任。

研究歴

昭和 53 年 1 月 大阪大学蛋白研究所機能制御部門国内留学
蛋白分解酵素の分析、精製、測定法などにつき研究を行い
藤井節郎教授、岩永貞明助教授（現九州大学教授）の
指導を受ける

昭和 53 年 7 月 米国コロンビア大学留学
DeWitt.S.Goodman 教授に師事し
コロンビア大学助手(Staff Associate) としてビタミンAの
受容体蛋白の研究に従事（2年間）。

昭和 58 年度文部省科学研究費奨励研究（課題番号 58770577）の認定を受ける。

昭和 62 年度 " " （課題番号 62770202） " 。

いずれもアミロイドーシスの生化学的、治療の研究に対しての認定。

平成元年財団法人上原記念生命科学財団より研究奨励金（200 万円）を贈呈される。

平成元年 4 月～ 3 年間

厚生省ニューロパチー研究班分担研究者（班員）に任命される。

（平成 2 年度より啖生会脳神経外科病院就職の為辞退）

平成元年 7 月

NATO（北大西洋条約機構）より

Advanced Research Workshop への招待を受け、

イタリアにて、先進各国より選ばれた研究者（いずれもプロテアーゼの専門家）

約 60 人に対し「神経内科と蛋白分解酵素」につき 40 分間の学術講演を行う。

講演内容は

Serine Proteases and Their Serpin Inhibitors in the Nervous System

(Plenum Publishing Corporation , New York, London)

として発刊される。

研究分野：内科、神経内科全般および臨床薬理。

アミロイドーシス、髄液、ビタミンAリセプター蛋白、プロテアーゼなど。

発表論文：上記分野につき国際雑誌を中心に約 40（論文目録は末尾）。

有馬温泉病院勤務中は温泉医学の研究に従事

賞罰（一部研究歴より再掲）

1) 昭和 63 年度 上原記念生命科学財団より

「アミロイドーシスに対するプロテアーゼによる治療」

に対し、研究奨励金（200万円）（88奨-35）の贈呈を受ける。

研究結果は

「上原記念生命科学財団 研究報告集 vol.4, 1990 p243-245」に掲載。

2) 平成元年 4月～ 3年間

厚生省ニューロパチー研究班分担研究者（班員）に任命される。

（平成2年度より啜生会脳神経外科病院副院長就職の為辞退）

3) 平成元年 7月（招待講演）

NATO（北大西洋条約機構）より

Advanced Research Workshop への招待を受け、

イタリアにて、先進各国より選ばれた研究者（いずれもプロテアーゼの専門家）

約 60 人に対し「神経内科と蛋白分解酵素」につき 40 分間の学術講演を行う。

4) 昭和 58 年度文部省科学研究費奨励研究（課題番号 58770577）の認定を受ける。

5) 昭和 62 年度 " (課題番号 62770202) " 。

6) 受罰 無し。

論文目録

- 1) 塚越 廣、足立 憲昭
胸腺の気縦隔回転断層撮影、
厚生省特定疾患重症筋無力症調査研究班、
重症筋無力症の成因、治療及び予防に関する研究.昭和 50 年度研究報告書 : 168-
171.1975
- 2) 塚越 廣、足立 憲昭 : 精神安定剤. 診断と治療、 64 : 107-109.1976
- 3) 塚越 廣、足立 憲昭、中川 真一、村上 富美江、金井 正光 :
脱髄疾患における髄液中 β 2-microglobulin
厚生省特定疾患・脱髄疾患調査研究班、
脱髄疾患の成因、治療及び予防に関する研究.1976 年度研究報告書 : 103-
108.1976
- 4) 足立 憲昭、加賀谷 肇、小口 喜三夫、柳沢 信夫、塚越 廣 :
多発性筋炎をもって初発し、16 ヶ月後に初めて関節症状が出現した悪性関節リ
ウマチの一例.日内会誌、 66 : 535-540.1977
- 5) 塚越 廣、足立 憲昭 : 原発性脊髄側索硬化症・脊髄後索硬化症.神経内科、
6 : 27-33.1977
- 6) 塚越 廣、足立 憲昭 : Foix-Alajouanine 症候群.
日本臨床、 35 : 502-503.1977
- 7) 望月 宗範、大塚 訓喜、大内 悦雄、足立 憲昭 :
脊椎硬膜外血腫に対する緊急手術の 1 例. 関東整災誌、 9 : 119-12.1977
- 8) 足立 憲昭、塚越 廣、村上 富美江、金井 正光 :
髄液中の β 2-microglobulin 各神経疾患における値との対比.臨床神経、
18 : 351-357.1978
- 9) 金井 正光、加登 通正、足立 憲昭、相沢 孝夫 :
体液・電解質 β 2 マイクログロブリン. 総合臨床、 27 : 2543-2555.1978

- 10) 塚越 廣、中野 知幸、足立 憲昭、進藤 政臣、柳沢 信夫：
重症筋無力症と筋無力症候群の特徴を有した慢性多発筋炎の1例、
厚生省特定疾患重症筋無力症調査研究班、
重症筋無力症の成因・治療及び予防に関する研究、昭和52年度研究報告書：
25-32.1978
- 11) 栢沼 勝彦、足立 憲昭、中島 元次、柳沢 信夫、塚越 廣：
感覚障害と白内障を伴った家族性痙性対麻痺の3同胞例。
臨床神経、19：388-393.1979
- 12) Iwanaga S, Morita T, Kato H, Harada T, Adachi N, Sugo T, Maruyama I,
Takada K, Kimura T, Sakakibara S. :
Fluorogenic peptide substrates for proteases in blood coagulation,
kallikrein-kinin and fibrinolysis systems. Adv Exp Med Biol. 120A:147-63.
1979
- 13) Hisao Kato, Noriaki Adachi, Yasuo Ohno, Sadaaki Iwanaga, Katsumi
Tanaka and Shunpei Sakakibara: New Fluorogenic Peptide Substrates
for Plasmin. J Biochemistry 88:183-190.1980
- 14) Hisao Kato, Noriaki Adachi, Sadaaki Iwanaga, Keishi Abe, Katsumi
Tanaka, Terutoshi Kikuma and Shunpei Sakakibara:
A New Fluorogenic Substrate Method for the Estimation of Kallikrein in
Urine. J Biochemistry. 87:1127-1132.1980
- 15) 金井 正光、足立 憲昭、亀子 光明、戸塚 実：
レチノール(ビタミンA) 結合蛋白-レチノール転送系の代謝と病態-
代謝、18：21-37.1981
- 16) C.Ross, N.Adchi, D.S.Goodman:
The binding protein for retinoic acid from rat testis cytosol:
isolation and partial characterization.
J Lipid Res.21：100-109.1980
- 17) Adachi N, J.E.Smith, D.Sklan, D.S.Goodman:
Radioimmunoassay studies of the tissue distribution and subcellular
localization of cellular retinol binding protein in rat.
J.Biol.Chem.256(18):9471-9476.1981

- 18) 足立 憲昭：細胞内レチノールおよびレチノイン酸結合蛋白に関する研究。
信州医学雑誌、30(3):311-321,1982
- 19) 足立 憲昭、柳沢 信夫： 腰椎および脳槽穿刺法。
臨床医、vol.8:24-242.1982
- 20) Sklan.D, N.Adachi, D.S.Goodman et al.:
Association of retinol-binding protein and several lipid hydrolase activities
with a vitamin A-containing high-molecular-weight lipid-protein aggregate
from rat liver cytosol.
Arch.Biophys. 214:35-44,1982
- 21) Shoji S, N.Adachi, M.Kameko, S.Nagasawa:
Prealbumin and immunoglobulin in serum and cerebrospinal fluid in
familial amyloid polyneuropathy
Eur. Neurol 22:213-216.1983
- 22) Adachi.N, Shoji.S, S.Nakayama, C-S Koh, N.Tsukada,
N.Yanagisawa:
Studies of protease and protease inhibitors in familial amyloidotic
polyneuropathy:
J of the Neurological Sciences, 81: 79-84.1987
- 23) Adachi.N, Shoji.S, N.Yanagisawa:
Bleeding manifestations in 24 patients with familial amyloidotic
polyneuropathy
Eur.Neurol. 28:115-116.1988
- 24) Adachi.N, C-S Koh, N.Tsukada, S.Shoji, N.Yanagisawa:
In vitro degradation of amyloid material by four proteases in tissue of a
patient with familial amyloidotic polyneuropathy.
J Neurol Sci. 84:295-299,1988
- 25) Adachi.N, Shoji.S, S.Nakayama, C-S Koh, N.Tsukada and
N.Yanagisawa:
Protease and Protease inhibitors in Familial Amyloidotic Polyneuropathy.in
“AMYLOID AND AMYLOIDOSIS”,
Isobe I.edited, Plenum Publishing Corporation, New York.1988

- 26) 足立 憲昭、柳沢 信夫：生体アミンと関係ある神経精神疾患。
CLINICAL NEURO-SCIENCE vol.6 No.5:528-531.1988
- 27) Adachi.N, Shoji.S :
Studies of protease inhibitors in the sera of patients with amyotrophic lateral sclerosis: J of the Neurol Sci,89:165-168.1989
- 28) 足立 憲昭、松本 隆一、井上 敦：腰椎および脳槽穿刺法。
臨床医 1990
- 29) Adachi. N: Current and proposed treatment of familial amyloidotic polyneuropathy: Clinical Neuropharmacology. 1990
- 30) Adachi.N: Protease inhibitors in neurologic disease in “Regulation of extra-vascular fibrinolysis in nervous system development and disease” Festoff-B.W.edited,
Plenum Publishing Coporation, New York. 1990
- 31) Adachi N: Beta-2-microglobulin levels in the cerebrospinal fluid: their value as a disease marker. A review of the recent literature.
Eur Neurol. 1991;31(4):181-5.
- 32) 河原 啓 (河原医院)、足立 憲昭 (西武庫病院内科)、廣畑 成也 (厚生会兵庫病院)、井上 侃也 (坂上田病院)、山中 若樹 (兵庫医科大学第一外科)、
三村 治 (兵庫医科大学第一眼科)、林 祥剛 (神戸大学医学部第一病理) :
インターフェロン(INF α)治療中に Ocular pseudo-myastheic riaction を生じ、predonine との併用により眼症状は消失し、完治したC型慢性活動性肝炎の一症例. 兵庫県医師会医学雑誌、37(3):102-107.1994
- 33) 足立 憲昭 (西武庫病院内科部長)：一步すすんだコンピュータ通信のすすめ. 看護実践の科学、24(3):101.1999
- 34) 足立 憲昭 (西武庫病院内科部長) :
シンポジウム「旅行の医学」●海外渡航者の医療記録●
医療記録の提供は主治医の務め 書式を準備し万全の備えを。
日経メディカル、386: 133-136. 2000.1

35) 足立憲昭 (みきやまりハビリテーション病院理事長・院長)、田渕 香 (みきやまりハビリテーション病院療法室室長補佐) :

患者さんに寄り添い、思いを共有し、地域に根ざしたリハビリテーションを
日本慢性期医療教会誌 (第 24 回日本慢性期医療学会(前編))

108 Vol.24 Page53-57 2016.12